

株式会社ファミリーマート(東京都)

プラスチックごみを減らそう!

環境配慮型素材の使用推進

ファミリーマートでは、プラスチック対策としてオリジナル商品の容器・包装に環境配慮型素材の使用を進めており、2030年までに60%、2050年までに100%を目指しています。オリジナル商品のほか、用度品を含めた環境配慮型素材の割合は2030年までに70%を目指しています。



オリジナル商品に環境配慮型包材を採用

パスタ商品やおむすびなど中食商品の一部は、バイオマスプラスチックなどを使用した環境配慮型包材を採用しています。また、パスタ商品やおむすびには一部バイオPP(※1)を使用しており、マスバランスアプローチ(※2)によるバイオPP容器包装を使用した商品化は、日本初(※3)の取り組みとなります。

(※1)原料として植物などのバイオマス資源を原料とするポリプロピレンの略称。(※2)ここでは、バイオマス由来原料の投入割合に応じて、そのバイオマス分を製品の一部に割り当てる考え方。

(※3)伊藤忠商事調べそれぞれ2022年までの導入時点。



バイオマスプラスチックなどを使用した環境配慮型容器

用度品の対応

2021年5月、スプーンの持ち手部分のデザインを変更して、プラスチック使用量を約12%削減しました。また、プラスチック量削減を目的に、店頭でのプラスチック製フォークの提供を原則取りやめています。フォークをご希望のお客様には、フォークの代わりに竹箸を提供します。なお、箸に不慣れなお客様などフォークを必要とされる方には、お客様のご希望に応じて、フォークの提供を継続します。



詳しくは、当社のホームページをご覧ください。

株式会社ファミリーマート



住所:東京都港区芝浦三丁目1番21号
HP: <https://www.family.co.jp/sustainability.html>
設立:1981年9月1日 資本金:16,659百万円
業種:コンビニエンスストア



ファミリーマートは環境問題をはじめとする社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献するため、2030年及び2050年に向けた中長期目標として「ファミマecoビジョン」を策定いたしました。「ファミマecoビジョン」では、「プラスチック対策」のほか、「温室効果ガス(CO₂排出量)の削減」、「食品ロスの削減」を合わせた3つのテーマに基づき中長期的な数値目標を設定し、目標達成に向けた取り組み推進を目指します。

マーケティング本部
サステナビリティ推進部
環境推進グループ
マネージャー 原田公雄 さん